

2022年2月7日

## Blue Yonder が CEO の交代を発表

当社の 100%子会社の Blue Yonder(本社:米国アリゾナ州スコッツデール)は、CEO の Girish Rishi(ギリッシュ・リッシ)が 2022 年 2 月末をもって同社を退職し、同年 3 月 1 日より同社のワールドワイドコマースビジネスのエグゼクティブバイスプレジデントである Mark Morgan(マーク・モーガン)が暫定 CEO を務めることを本日、発表しました。

2021 年 1 月～12 月決算で Blue Yonder の総売上は 11 億ドル、SaaS の受注残は 10 億ドルを超え、リカーリング比率約 70%を達成し、クラウドの顧客数も大幅に伸びるなど、記録的な成果となったことを発表しました。この成果を導いたリッシは、2017 年の入社以降、旧 Blue Yonder や Yantriks(ヤントリックス)などの戦略的買収を含むソリューションポートフォリオのクラウド移行を主導するとともに、顧客満足度と従業員のエンゲージメントスコアを高めてきました。

リッシは「直近の決算発表で証明されているように、Blue Yonder のビジネスはかつてないほど健全になっています。サプライチェーンの最適化は、世界中のすべての会議室での会話の最前線にあり、Blue Yonder は、主要なエンドツーエンドのソリューションプロバイダーとして重要な役割を果たしています。過去 5 年間で素晴らしい 5,500 人の従業員と一緒に仕事してきたことは、私のキャリアの中で最もやりがいのある経験の 1 つであり、世界中の Blue Yonder の顧客の可能性を実現するために、今後も革新を続け、たゆまぬ努力を続けていくと確信しています」と述べています。

2022 年 2 月末に暫定 CEO に就任するモーガンは、ソリューションアドバイザーとして同社に 23 年間在籍しており、その間、米国および米国外でさまざまな戦略的リーダーシップのポジションを務め、顧客の成功、収益の成長、および従業員の育成に重点を置いてきました。

モーガンは「会社での 23 年間で、Blue Yonder が、食品、水、医薬品などの世界の必需品をより迅速かつ効率的に配達できるようにしてきたのを目の当たりにしています。私たちはこの仕事に情熱を注いでいます。私たちの目の前には素晴らしいチャンスが広がっています。私は Blue Yonder をリードし、世界クラスのチームメンバーと協力し、幅広い顧客基盤にイノベーションと価値の提供を推進していけることを嬉しく思います。この 5 年間のギリッシュの革新的なリーダーシップ、ビジョン、友情に感謝し、今後の成功をさらに発展させることを楽しみにしています」と述べています。

Blue Yonder の取締役会議長であり、コネクティッドソリューションズ社\*の CEO である樋口 泰行は「当社は、ギリッシュが在任した 5 年間にサービスのクラウド化／SaaS 移行により、リカーリング比率約 70%という安定した経営基盤構築を主導してきたことに加え、当社の株式取得において発揮してきた卓越したリーダーシップに深く感謝しています。この経営基盤を引き継ぐマークとの連携により、当社と Blue Yonder は、引き続き、オートノマスサプライチェーンの実現にむけ、むしろ、これまで以上に取り組みを強化していくことが可能になると確信しています」と述べています。

\* パナソニックグループの持株会社制への移行にともない、パナソニック コネクティッドソリューションズ社は 2022 年 4 月に、「パナソニック コネクト株式会社」に変わります。

Blue Yonder のリリースのリンクは[こちら](#)

以上